

2014/3/25

年次大会を終えて

長岡技術科学大学 電気系
自然言語処理研究室 高橋寛治

はじめに

- **目的**

- 人脈づくり
- 研究の動向、考え方を知る
- 発表の手法、雰囲気を知る

- **感想**

- ワークショップ
- 自分の立ち位置

人脈

- **企業**

- 将来の就職の参考

- 会社に自分を合わせない、合う会社を見つける

- 企業の研究動向

- インターンや会社見学

- IBM、SmartNews、リクルート

- **学生**

- 他大学の内情を知る、研究仲間をつくる

研究の動向を知る

- 単純なテキスト処理だけでなく、音声表現やその他情報と複合されていく時代？
- 20~30年前のルールベースをもう一度見直す動き？
- ただ単に、機械学習しました・類似度測りましたという時代は終わり？

発表のしかた

- **全体を通して**

- わかりにくいプレゼン、ポスターが多かった
 - 自分の知識不足
- 特にポスターセッションで声が小さい
- 基本的にみんな早口

- **わかりやすかった発表**

- IBM 那須川さん
 - 伝えたいことを人が目を通して把握できる量に絞る

発表を見てもらうために (ポスター)

- 不適切な資料では、せっかくの研究成果を伝えきれない
- 人が集まっていたポスターに着目すると・・・
 - 説明する声大きい
 - ポスターが作りこまれている
 - 有名大学・企業である
- 見てもらうために何をすべきか？

ワークショップを聞いて 1/2

• おもしろかった

- 言語処理歴数十年の人と3ヶ月の自分との考え方の比較
- 日頃の疑問について
 - 機械学習
 - 言語そのもの（言語は例外のあらし）
 - 成果主義（精度主義）
 - 言語学との連携

ワークショップを聞いて 2/2

- **意味のある研究？**

- 言語処理が発展するために、どのような研究をし貢献するか
- 意欲を持てる難しいテーマにチャレンジすべきだが、論文の査読が厳しい・博士卒業不可
- 実用で考えると誰も精度100%を求めている

- **どこも独自にコーパス・辞書を作ってる**

- 現存のコーパスに足りない情報がある？
- オープン化・wiki化して言語処理に貢献すべき？

言語処理屋さん
は頭のいい人が多い

技術科学大学生は
手を動かすべき？